

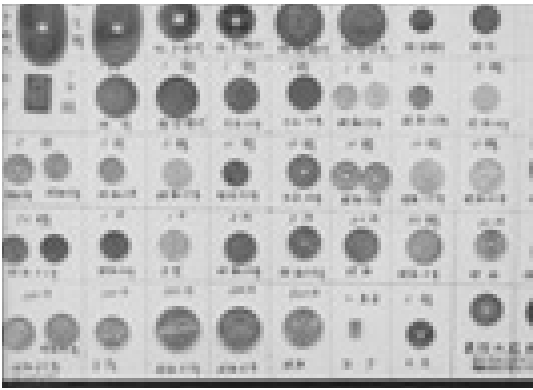
春季企画展 「收藏品展」ただ今開催中

このコーナーでは、みよしのむかしばなし、文化財、郷土資料などを紹介しています。

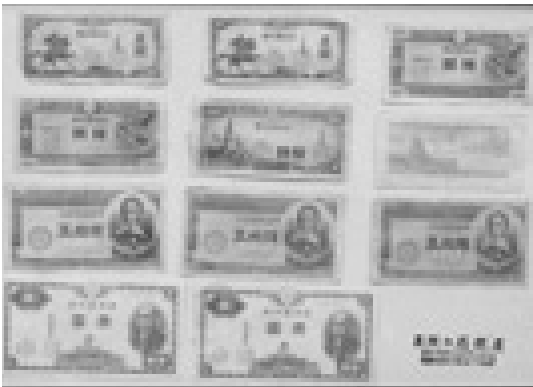
▼問い合わせ 歴史民俗資料館 電話(34)5000 FAX(34)5150

昭和57年の開館以来、資料館では三好町の歴史や民俗を知る上で欠くことのできない重要な資料を、たくさんの人から寄贈・寄託していただいています。これらの資料は大切に保管するだけでなく、先人たちの足跡や営みを皆さんに知っていただくために「收藏品展」として紹介してきました。

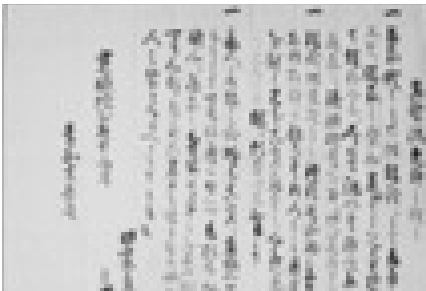
11回目となる今回の展示会では、平成12年度以降に寄贈・寄託していただいた資料を中心に45点を紹介。昭和20年代に使われていた冷蔵庫やトランク、はかり、そろばんなどの懐かしい道具



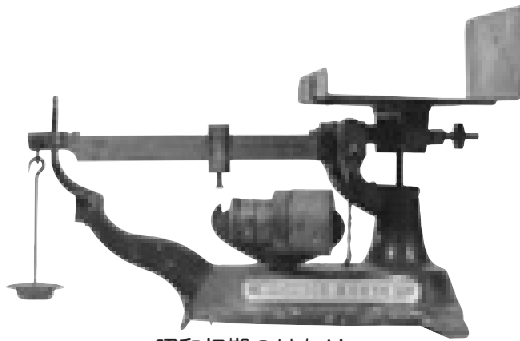
近代日本の代表的な硬貨



近代日本の代表的な紙幣



1800年(寛政12年)の医流免許



昭和初期のはかり

や、猿投窯で焼かれた山茶わん、江戸時代の古文書などの歴史文献資料を展示しています。さらに江戸時代後期に活躍した、蒔生村(現在の大字蒔生)出身で水墨画を基調にした東洋画を描いた尾張南画家の伊豆原麻谷の作品も紹介します。皆さん、ぜひご覧ください。

▼とき 7月6日(日)まで

▼ところ 歴史民俗資料館

▼開館時間 午前9時から午後4時30分まで

▼休館日 毎週月曜日

▼入場料 無料

編集後記

▼前回の4月15日号で役場の組織表を掲載しましたが、ご覧になりましたか。これは以前、提言箱に寄せられた「この部署がどんな仕事をしているのか分からないので、組織の分かる表を掲載してほしい」というご意見にこたえたものです。このほか広報係では、役場の仕事を皆さんに知っていただくこと、平成7年より連載した「ちょっと教えて、役場の仕事」を次号の5月15日号から復活させます。役場により親しみを感じていただければと考えています。最初は、わたしたち広報情報課を紹介する予定です。お楽しみに。(き)

▼新年度が始まって1カ月。進学、進級、そして就職などで起床時間が変わった皆さん、新しい生活のリズムと環境には慣れましたか。わたしは、広報担当になって2年目を迎え、何とか順調に仕事を進めることができようになりました。そこで、今年には皆さんにより親しまれる広報を目指し、さまざまな取り組みを行いたいと考えています。その一つとして、皆さんに三好のことをもっと知っていただくこと、今回から「みんなのひろば」の中で、まちの歴史などを紹介するコーナーを設けました。感想などをお待ちしています。(憲)